



はギリシャ語で「あえる」と読み、大気・天空を意味します。空で会える、仲間に会えるを合言葉に!



「とびまる」
マスコットキャラクター

広報

あえる

HOSPA

Vol.58

夏も冬も北海道のスカイスポーツを楽しもう!

発行日 2017.1.15

寄稿 ～北海道の空に夢を託して!

ペーター・ステーガー

美唄市農道離着陸場指定管理者

SKYSPORTS EVENT 2016

北海道各地で開催のスカイスポーツイベント紹介

みんなのスカイスポーツ教室

石狩市浜益コミュニティセンター

HOSPA杯

パラグライダー・ラジコン

「マイクロライトプレーン」デモフライト

2016 余市フェアにて 撮影 広瀬素洋

無料体験会

パラグライダー

札幌航空ページェント

「2016北海道スカイスポーツフェアイン余市」

山より高く!フルーツ薫る余市の空へ



公益社団法人北海道スカイスポーツ協会

HOKKAIDO SKY SPORTS ASSOCIATION

HOSPA

検索

〒060-0042 札幌市中央区大通西4丁目道銀ビル TEL011-232-4347

北海道の空に夢を託して！

寄稿 ペーター・ステージャー

航空業界の発展に熱い情熱を持つ「ピートエア インコーポレーション」の日本支社代表のペーター・ステージャー氏は、現在、美唄市農道離着陸場「美唄スカイパーク」を活動の拠点に置き、小型航空機の仲買、格納庫経営、運航支援業務、農道離着陸場指定管理業務、その他、飛行機クラブでは小型航空機の操縦士資格取得訓練等幅広く活動しています。また、スカイスポーツの啓発普及活動にも熱心に取組んでいる同氏の活躍ぶりを寄稿していただきました



美唄スカイパーク(軽飛行機のイベント仲間が集合)

沿革



ステージャー氏(格納庫と愛機)

私が、自家用飛行機の操縦士の資格を取ったのは1989年、アラスカ州のアンカレッジ市内空港メリルフィールドでした。その時代ドイツ大手自動車部品メーカー「ボッシュ」に務めており、よく出張や旅行で海外に行っていましたので、海外で他の飛行機の追加免許も取ったりしていました。今はアメリカFAA事業用や教官の資格を持っています。現状では日本の免許に簡単に書き換えが出来ませんので、自家用操縦士としては単発、双発飛行機、滑空機(グライダー)を操縦しています。1997年頃、私は「モール」という飛行機を日本に輸入しましたが、日本では飛行機の維持費が高いのでそれほど普及していません。それで航空業界の振興との思いで維持費を安くし、飛行機を特に北海道でもっと普及するようにと活動するようになりました。まず、家賃(停留料)の安い格納庫を美唄市農道離着陸場に建設して、運営する計画を作り、2004年頃、中小企業基盤整備機構の紹介で美唄市にコンタクトしました。美唄市がこの計画を理解するまでには数年間が掛かりましたが、2008年夏に私は滑走路への誘導路と着陸場の扉を造って美唄市に寄付しました。その秋に格納庫を完成させ、その3年後美唄市農道離着陸場での活動を開始しました。



牽引中の所有双発機

活動の現状

○運航支援業務

毎年、自分の飛行機で世界一周をしたいという自家用操縦士が増えていますが、日本列島を通るのは難しいため、良心的な地上援助業務が出来ないかという希望が多数きていました。入国管理局及び税関等への手続代行のほか、空港においては滑走路・エプロン等が立入禁止区域に指定されており、航空機から降りて路面上を歩いて移動することが禁止されていることから、小型航空機の利用においてはタラップや移動用車両などの運行支援業務が欠かせないものでありますが、私は新千歳空港におけるこれらの立入禁止区域に入ることのできる「制限区域立入承認証」を幸いにも受けており(苦労しましたが)、これまでに約30機の運航支援業務を行ってきました。

○小型航空機の操縦士資格取得訓練

「美唄スカイパーク」を訓練区域として、近くには旭川空港があり計器証明を取りたい操縦士にとっては最適な訓練地です。又、小型航空機の双発限定(両翼にプロペラがあるもの)操縦訓練も行っています。毎年5名程度の訓練を実施しています。

○農道離着陸場指定管理者

2014年度に美唄市から受託し現在に至っています。毎年「日本AOPA」という飛行機の愛好家の集会「Fly-in北海道」を行っており、多数の小型機が飛来します。また地元「JA祭り」などに小型機の体験飛行を景品として提供し評判を得ています。各飛行関連団体を美唄スカイパークでは



タクシング中の所有単発機

応援しています。「北海道スカイダイビング倶楽部」
「North Wing」のトライク訓練、「サニーサイ
ドパラグライダースクール」等です。

・北海道スカイダイビング倶楽部空楽舞落下傘

(代表 磯谷正勝)

ここ美唄でのスカイダイ
ビング活動も6年目を迎え
ました。今年2016年度
は昨年に比べ活動期間は3
週間ほど短い10月中旬に終
了しましたが、タンデム体
験者数としては昨年の20%
増となり、また道外からの
参加者が道内者数を超える
状況になりました。地域的にも今までにない青森・新潟・
熊本など、また道内でも道東方面と広がりました。併せ
て、ご夫婦、親子、カップル等の参加も著明に多くなっ
てきました。一昨年HPを更新したことにより7月時点で
ご予約が埋まり、8月以降キャンセル待ちが多く発生す
るなど改めてインターネットの有効性を感じました。一
人でスカイダイブの方も去年より大幅に増えました。来
年度は美唄スカイパークに来る方がより楽しめるよう新
たな試みをしようと考えます。タンデムを楽しまれた方
にも美唄の焼き鳥・焼きそば・鳥飯などのご当地グルメ
のほか、美唄周辺の観光地の紹介・宣伝に力を注ぎたい
と思います。



スカイダイビング、タンデム降下中

・「North Wing」のトライク訓練

(代表 田中匠)

マイクロライトのトライク(体重移動)で活動してい
ます。トライクの利点は、1人で機体を組み立てられる、

簡単に乗れる、値段が安い、
移動が簡単で許可さえあれ
ばどこでも飛べる、という
ところです。マイクロライ
ト日本選手権では2回優勝
させていただきました。美
唄でのトライクの訓練活動
は始めてもう7年になりま
す。スクール生のは多く
はありませんが、道内、関東、関西方面からトレーニング
に来てくれます。夏、本州から来るスクール生は、「こん
な涼しい所で飛べるなんて最高ですねー」と言ってくれま
す。天気が悪くてフライトトレニングができない時、ス
クール生を観光に連れて行くと大変喜んでくれます。



トライク離陸準備

・サニーサイドパラグライダースクール

(校長 上野陸)

日本パラグライダー協会
(JPA)のインストラクター
上野陸さんが、2015年
4月から美唄スカイパーク
で「パラグライダースクー
ル」を開始しました。日本
で開発された電動ウインチ
のトレーニングにより平地で
もパラグライダーを楽しめます。



パラグライダー

「美唄市農道離着陸場」今後の展望

農道離着陸場には防災対応は勿論のこと、「北海道せき
損センター」のドクターヘリに今後求められるであろう
「大型化・空輸のスピード化」に備えると同時に、「砂川

市立病院」及び「岩見沢市立病院」などにも働きかけて、
北海道内からの中型機による緊急患者輸送システム構築
なども視野に入れた対応に、民間としての立場から門戸
を広げ協力していきたいと考えています。また、他の農
道離着陸場と同様、もしくはそれ以上にスカイスポーツ
の啓発事業に力を注ぎ、本州ではかなり人気があるもの
の北海道では未だそれほど普及していないスカイダイビ
ングのメッカになるようにと考え、現在、ほとんど日曜
日にしか行っていない「スカイダイビング」を毎日開催
出来ればと思っています。更に、小型機の駐機場、整備
や給油施設、パイロットの訓練地としての利活用を更に
推進したいと思っています。それ以外のスカイスポー
ツでも「美唄市農道離着陸場」
を大いに活用できればと考
えています。大空に興味の
ある人々、老若男女を問わ
ず、美唄市農道離着陸場に
呼び寄せる一案として「体
験飛行」と考えている次
第です。



管理棟前 スタッフと



ペーター・ステーガー

Dr. Peter F. Steeger-Ejiri

1958年ドイツ生(58歳)

ドイツエッセン大学卒(理学博士、アメリカFAA
航空機教官)北大工学部研究員、ドイツ大手
自動車部品総合メーカー(世界第1位)「ボッ
シュ」勤務を経て、2011年Petair Inc.日本支社
代表、2014年から「美唄市農道離着陸場」
指定管理者

2016 SKY SPORTS EVENT

北海道各地で開催された

スカイスポーツイベントご紹介

●6月29日(水) ■砂川市

竹とんぼ教室

砂川市が行っている「放課後学校」に出向。空知太小の1年生から4年生まで43人に、道具の説明を交えながら竹とんぼを作る過程を実演。その後の飛ばす体験に加え、「大会」も実施。楽！



●7月2日(土)～3日(日) ■遠別町

2016 フライヤーズサミットin遠別

強風のため土曜日午前に前倒しで実施しましたが、途中、安全を考慮し終了。お昼から懇親会で情報交換などをして盛り上がりました。



●7月24日(日) ■当麻スカイパーク

第30回

当麻スカイスポーツフェスタ

天候に恵まれさほど暑くもなく予定通り終了しました。やっぱり人気はグライダーの無料体験搭乗！より楽しいイベントをめざし、今後も工夫していきたいです。



●7月30日(土)

■美唄スカイパーク

新婚旅行ダイビング

新婚旅行で岡山から来られた河村さんご夫妻。旅行の初日と最終日の再トライでやっと念願のスカイダイビングを実現しました。天候不良に打ち勝ったお二人の前途は洋々です。



●4月2日(土) ■砂川市

竹とんぼ教室

毎月第1土曜日に砂川市の地域交流センター「ゆう」で竹とんぼ教室を開いています。小中学生や近隣学校の英語アシスタントも参加。作って飛ばす体験に笑顔と歓声がいっぱいでした。



●5月5日(木) ■たきかわスカイパーク

こどもたちに大空のプレゼント

こどもの日恒例の体験飛行のプレゼント。当選した55名の子供たちとそのご家族にモーターグライダーと軽飛行機で大空散歩を楽しんでいただきました。



●6月19日(日) ■札幌市自転車公園

竹とんぼ教室

今年は雨の降る日が多かったこの時季。でもこの日は快晴！午前中は竹とんぼ作り、午後からは競技会。子供たちより親たちのほうが真剣でした。



●6月26日(日) ■札幌市川下公園

第19回

さっぽろカイトフェスティバル

札幌イナズマチームのスポーツカイトの演技に、和風、創作風。連風巨大イカ丸君のデモンストレーションなど風満載！プレゼントされた風を揚げ走り回る親子連れが楽しそう！



●1月2日(土) ■札幌市伏古公園

第39回

新春えと100連風揚げ

今年のえと「さる丸君」の連風100連揚げに、朝早くから100人以上のギャラリーが集まりました。風が弱く、2回3回と走り回り、やっと風に乗り次々揚がっていきます。よい年になりますように！



●2月6日(土)～7日(日)

■上士幌町航空公園周辺

上士幌ウィンター バルーンミーティング

冬の十勝は晴天率が高く、青空と雪原に色とりどりの熱気球が映えます。冬の白銀の大地と熱気球が描く鮮やかなコントラストは写真愛好家らを魅了しています。



●10月8日(土) ■北見市緑のセンター
「緑のパネル展」竹とんぼ教室
 (北海道森林管理局主催)

裏山から拾い集めたどんぐりや紅葉のデコレーションで秋の彩り映える「緑のセンター」研修室のなか、勢いよく飛行する竹とんぼはまるで赤トンボ? (子どもたちの目にはそう映ったかもしれません。)



●10月22日(土)
 ■北見市オホーツク木のプラザ
「第41回みんなの消費生活展」
竹とんぼ教室

リサイクルやリメイクなどのフリーマーケットですが歴史ある消費生活展で今年度初の取り組み。竹とんぼの材料は・・・なんとお正月に玄関先を飾るあの門松なんです。竹の皮に熱を加えると自在に角度をつけられて優れたプロペラに。

2017年ウィンターイベントカレンダー



- 1月2日(月)
札幌市
第40回新春えと連風100連揚げ
- 2月5日(日)(予定)
中富良野町
富良野バルーンミーティング
- 2月11日(土)～12日(日)
上士幌町
上士幌ウィンターバルーンミーティング
- 2月11日(土)～12日(日)(予定)
サロマ湖周辺
2017サロマ湖水結フライト大会
- 2月上旬～中旬(予定) 音更町
ゆめ気球とかち
- 2月19日(日) 小清水町
スカイフェスティバル
- 2月19日(日) 和寒町
わさむ越冬キャベツバルーンミーティング

●9月3日(土)～4日(日)
 ■本別町利別川河川敷特設会場
本別きらめきタウン
フェスティバル2016

2日間で38000人もの来場者で賑わった「本別きらめきタウンフェス」では約6000発の花火が初秋の夜空を彩り、MAY Jさん、市川由紀乃さんらの歌声で会場は活気につまれました。



●9月11日(日) ■札幌市丘珠空港
空の日
札幌丘珠空港フェスタ

普段立ち入ることができない滑走路見学バスツアーをはじめ、ヘリコプターやグライダーの展示。ヘリコプター遊覧飛行が当たる紙飛行機競技会など家族連れのお客様が秋の一日を楽しみました。



●9月11日(日) ■紋別空港他
スカイフェスティバル
2016in紋別

紋別空港と流水公園で開催されましたが、天気は良くても強風。熱気球係留フライト体験などは中止。スカイスポーツ教室や空港内バスツアーなどで楽しんでいただきました。



●7月31日(日) ■たきかわスカイパーク
サマースカイフェスタ

おなじみのモーターグライダーからの「空中菓子まき」のほか、「ヴァンテージグライダー MG19」の初公開飛行、「ナウシカの飛行具 M-02」の初公開テスト飛行など、たくさんの方々に北海道の夏空を楽しんでいただきました。



●8月5日(金)～7日(日)
 ■上士幌町航空公園周辺

第43回
北海道バルーンフェスティバル

爽やかな夏の北海道、澄みきった真っ青な大空。限りなく広がる緑と黄金の穂波がうねる十勝上士幌町に全国から多数の競技チームが参戦。たくさんのお客様が舞い上がります。地元飲食店の出店など楽しいいっぱい夏の一大イベントです。



●8月14日(日)
 ■美唄スカイパーク

体験ジャンプ(スカイダイビング)

今年は50代60代の体験者が多いシーズンでした。70代の女性が3人も! 中でも最高齢は江別から親子で来られた74歳の杉澤さん。小柄なかわいいおばあちゃんでチャレンジ精神旺盛です。息子さんより先にジャンプ。着地して「こんなもんかい!」さすが戦前戦後生きぬいた「つわもの」です。



みんなのスカイスポーツ教室

■開催日／平成28年8月4日(木)
 ■主催／石狩市保健福祉健康推進室スポーツ課
 ■共催／(公社)北海道スカイスポーツ協会
 ■開催場所／石狩市浜益コミュニティセンターさくら
 ■講師／飯島 実(なかしべつ伝成館代表)
 ■参加者／市内小学生30名

教室

木曜日は紙ひこうきの
 折り方や飛ばし方を
 教えてくれてありがとう
 ございました。また会
 ったら教えてください。
 1班一同

先生創作の大きなヒコーキと
 自作品を飛ばす子供達



飯島先生の丁寧な指導

今年度の「みんなのスカイスポーツ教室」は石狩市主催の『わんぱくスポーツスクール2016in浜益』～スポーツと自然の魅力発見～(2日間開催)一日目のカリキュラムの中で「ふしぎヒコーキ実験室」として行われた。広い講堂で各自作成したものを飛ばし、想像以上に飛ぶ様子にびっくり。また、講師が開発制作した植物の葉や種子が木から落ちる原理を基にした「ふしぎな飛行物体」が、天井高くから回転しながら舞い降りる光景に目を輝かし、子供たちにとってもものづくりの楽しさと、スカイスポーツへの興味を深める良いきっかけになったものと思います。

作ったことのない紙飛行機だったので楽しかった。難しい紙飛行機を使ってお皿に入れてびっくりしました。とてもきれいでした。2班一同

これまで普通のヒコーキしか作ったことは無かったけど、はじめての紙ヒコーキが作れたのでうれしかった。ありがとうございました。3班一同

後日、石狩市健康推進担当部長からのお礼状と、生徒達3班の代表から感謝の言葉をいただきました

ホ ス パ 杯

第15回HOSPA杯争奪スケールアクロ競技会

■開催日：平成28年9月18日(日)
 ■場所：苫小牧模型クラブ専用飛行場
 ■参加選手：16名

15回目を迎えたHOSPA杯、当日風の問題はなかったが朝からの断続的に降る小雨に悩まされました。午前中は晴れ間を見つけて各クラスとも1ラウンド目を終了、午後からの2ラウンド目は本格的な降雨で断念せざるを得ませんでした。

参加各選手は白熱した飛行を披露し上級クラスの優勝は、千歳市から参加の山本選手が獲得しました。



第12回HOSPA CUP 2016in島牧

■開催日：平成28年10月1日(土)～2日(日)
 ■場所：島牧村歌島高原
 ■参加者：10名

競技会前日の1日(土)フリーフライト、晴れて正面の風に恵まれ1～2時間のソアリングを楽しみました。

競技会当日はエントリー9名、穏やかな午前の早めに8名がテイクオフソアリングしましたが、途中から南西の強風になり競技会はキャンセルしました。天候の急変等の予測には今後も細心の注意をもって運営して行きたい。



一般社団法人
北海道開発技術センター
 dec
 Hokkaido Development Engineering Center
 〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
 セントラル札幌ビル3F・4F
 TEL 011-738-3361 FAX 011-738-1886
 URL <http://www.decnet.or.jp/>

お客様のニーズにお応えし、最高の品質をお届けします
 損害保険・生命保険・医療保険代理店、
 不動産仲介業、賃貸・管理
北海道建物株式会社
 〒060-0063 札幌市中央区南3条西6丁目3番地
<http://www.do-tate.co.jp>
 代表 TEL(011)281-0123
 支店／旭川、函館、苫小牧、帯広、北見、釧路

地域の元気を水辺から！
 一般財団法人石狩川振興財団
 〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
 セントラル札幌ビル2F
 電話(011)299-7755 FAX(011)299-7550

パラグライダー無料体験講習会

今年はルスツと比布スキー場にて開催

■主催：北海道ハング・パラグライディング連盟

■共催：HOSPA

ルスツは6月19日(日)、参加者18名。当日は天候に恵まれ機材の立ち上げから、ふわり体験までを実施でき充実した講習会でした。旭川では当初カムイスキー場で予定、当日低気圧直撃の予報のため一旦中止しましたが、参加申し込みが45名もあったことから改めて有志により比布スキー場にて2回に分けて実施しました。1回目は7月31日(日)参加者7名スタッフ10名にて実施。風に恵まれほぼ全員が浮き上がることができました。2回目は8月7日(日)参加者14名スタッフ12名にて実施。風に恵まれほぼ全員がふわり体験まで行い、希望者にはタンデムフライトも楽しんでもらいました。この無料体験講習会は例年安定した体験希望者があり、フライヤー人口の増加につながるものと今後に期待しております。



空色キャンパスに飛行機が躍った!来場38千人

「札幌航空ページェント」開催

■開催日：平成28年7月24日(日)

■場所：丘珠空港 ■主催：北海道航空協会、HOSPA

官民延べ50機が目の前を飛行するだけでなく地上にも展示、間近に見られて大勢の人だかりができ、デモ飛行には大歓声が上がりました。マニアはもちろんカップルや家族連れ、また、大きなレンズを付けたカメラを構える人も多く、一番人気はブルーインパルスとチーム・ヨシ・ムロヤのアクロバット飛行。特にムロヤ氏の演技は、こんなことまでできるのかというほど自由自在で観客を楽しませてくれました。このハイパワー・ハイスピード飛行とは対照的だったのがグライダーの曲技。のびやかに広げた翼とスマートな機体が青空に映えて、実に美しい飛行でした。



新任のごあいさつ

公益社団法人北海道スカイスports協会 常務理事 山村 彰範



滝川スカイパークにて

昨年5月の総会で稲田さんの後任になりました山村です。健康だけが取り柄の私ですが、ご縁があってスカイスports協会に籍を置かせていただくことになりました。初めてのことはばかりで非常に不安でしたが、スカイスports教室や余市フェアを経験する中で皆さんが楽しむ様子を目の当たりにして、私も同じような気持ちになって楽しめるようになりました。スカイスportsの振興を通して地域振興を図ることが目的ですので、少しでもその力になればと思っています。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



HOSPA HOKKAIDO SKY-SPORTS ASSOCIATION

公益社団法人 北海道スカイスports協会

当協会では自治体はじめ団体、個人の方を会員として募集中。スカイスports振興に興味のある方は、下記ホームページを参照のうえお電話(011)232-4347にてご照会下さい。

ホームページは「HOSPA」で検索

●登山 ●キャンピング ●カヌー ●XCスキー
アウトドアスポーツ専門

秀岳荘

北大前店/北区北12条西3丁目 ☎726-1235
白石店/白石区本通1丁目南2 ☎860-1111
旭川店/旭川市忠和5条4丁目 ☎(0166)61-1930

■開催日：平成28年8月7日(日) ■場所：余市町
余市農道離着陸場(アップルポート余市)

2016 北海道スカイスポーツフェスティバル余市

今年のフェアはドラマ「マッサン」で有名になり今賑わいを見せている余市町で開催しました。快晴微風の好天に恵まれ地元余市町や札幌方面からも多くの皆さんが訪れスカイスポーツの魅力存分に楽しんでいただきました。

大会前日夕食会



嶋町長と大会本部長
スカイダイバーから町旗を受取り、記念写真



「ソーラン武士」
も応援に登場!



ヘリの体験搭乗にも
朝から行列



バルーン搭乗
受付開始と同時に
定員一杯



快晴!バルーン
上空から余市湾が
望めます



優雅です、大風
にパラグライダーの
編隊飛行

山より高く!
フルーツ薫る余市の空へ



親子で各体験会
の申込



マイクロライトプレーン
気持ちよさそう...



フライト前入念に点検



ふわり体験
浮きすぎ?



風、竹とんぼ、紙飛行機、ラジコン、
みんな熱心に挑戦!



カイトの舞
いつも見事!



余市で活躍の
バグパイプバンド



模擬競技会
入賞オメデトウ!



地元商店の皆さん出店



モーターグライダーフライト終了機体を
揺らせて札幌へ帰還の途に



これからスカイダイビング、上空へ



お楽しみ抽選会
地元産品ゲット!

